

気候情報

2015年5月の日本の天候

- 全国的に気温はかなり高く、北・東日本で記録的な高温
- 北日本太平洋側と東日本日本海側では記録的な多雨で、東日本太平洋側の降水量はかなり少なかった
- 沖縄・奄美では梅雨入りが遅かった

5月の天気概況

低気圧は日本の北を通ることが多く、中旬に台風第6号や低気圧の影響で、全国の広い範囲で大雨となったほか、本州付近は移動性高気圧に覆われ、北日本から西日本にかけては晴れる日が多かった。北・東日本の月間日照時間はかなり多く、北日本太平洋側では平年比133%、東日本日本海側では平年比139%となり、1946年の統計開始以来5月としては最も日照時間が多かった。また、東日本太平洋側では降水量がかなり少なかった。

気温は、日本の北を通過する低気圧に向かって南西からの暖かい空気が流れ込んだことや本州付近では日照時間が多かったため全国的にかなり高く、北日本では平年差+2.0°C、東日本では平年差+2.1°Cとともに5月としては最も高温となるとともに、全国154地点中55地点で5月としての月平均気温の高い記録を更新した。

上旬：日本付近は、日本の北と本州の南海上を進む低気圧と高気圧が交互に通過したが、北・東日本を中心に低気圧の影響は弱く、移動性高気圧に覆われた。このため、北・東日本の日照時間はかなり多かった。また、北・東日本の気温は、日照時間がかなり多かったことに加えて日本の北を通過した低気圧に向かって、南からの暖かい空気が流れ込んだため、かなり高くなった。旬平均気温は、北・東日本ではかなり高く、西日本で高かった。沖縄・奄美では平年並だった。旬降水量は、全国的に少なく、北日本と東日本太平洋側ではかなり少なかった。旬間日照時間は、全国的に多く、北・東日本ではかなり多かった。

中旬：北日本付近を短い周期で低気圧が通過したほか、台風第6号が11日から12日にかけて沖縄・奄美付近を北上した後、四国沖で温帯低気圧に変わった。このため、北日本から西日本にかけての天気は数日の周期で変わり、台風や低気圧の影響で広い範囲で大雨となり、北日本日本海側では降水量がかなり多くなった。気温は、南西からの暖かい空気が流れ込んだため全国的に高く、東日本では平年差+2.3°Cとなり、旬の統計を開始した1961年以降で5月中旬としては最も高温となった。旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり高く、北日本で高かった。旬降水量は、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。旬間日照時間は、北日本太平洋側、東日本、沖縄・奄美で多く、北日本日本海側、西日本で平年並だった。

下旬：日本の北を低気圧が通過することが多く、本州付近は移動性高気圧に覆われたため、北日本から西日本にかけては晴れる日が多かった。北・東日本と西日本日本海側の日照時間はかなり多く、北日本日本海側で平年比146%、東日本日本海側で平年比160%となり、5月下旬としては最も日照時間が多かった。また、南西からの暖かい空気が流れ込んだため、北・東・西日本の気温はかなり高く、東日本では、平年差+2.2°Cとなり、5月下旬としては最も高温となった。旬平均気温は、北・東・西日本ではかなり高く、沖縄・奄美で高かった。旬降水量は、北・東・西日本ではかなり少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。旬間日照時間は、北・東日本、西日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なかった。

5月の気候統計

月平均気温：全国的にかなり高かった。

月降水量：東日本太平洋側ではかなり少なく、北・西日本、東日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：北・東日本ではかなり多かった。西日本では多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

5月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（°C）
東京 21.1 札幌 14.2 など55地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
白河 38.0 軽井沢 39.5 前橋 20.5
- ・月間日照時間多い方から（h）
仙台 273.3 宇都宮 250.5 など11地点

2015年5月の平年差（比）図

